

大竹 文雄 評

## モラルの起源——実験社会科学からの問い

亀田達也著(岩波新書・821円)

あなたは災害援助に向かうトラックの運転をしていたとしよう。酷暑のなか、1000kgの食糧を積んで被災地域に向かっている。予期せぬ悪路のために時間がかかることになった。地域の全員に食糧を配ろうとすると確実に400kgの食料が腐ってしまふ。しかし、途中でトラックを止め、地域の70%の住民にすべての食糧を渡すのなら食糧の損失はゼロで済む。あなたは援助者としてどちらの決断をするだろうか。

総量は減っても被災地域全員に食糧を配るのか、70%の人にしか行き渡らないけれどより多い食糧を配るのか。後者の考え

方は、「最大多数の最大幸福」を目指す功利主義的な考え方だ。一方、前者の考え方は「最悪の立場を最大に改善する分配」というロールズ主義的な考え方だ。

## 哲学的問いを自然科学の手法で分析

これはいかにも哲学的な問いで、典型的な文系の議論のように思われる。ところが、このような哲学的問いについて、現在では被験者を集めた実験や脳イメージングといった自然科学的な手法で分析することができるのだ。著者の亀田達也氏は、実験社会科学と呼ばれるこの分野

の日本のリーダーの一人である。本書は、利他性や分配についての考え方について、生物学的な議論から始めて最先端の人文社会科学の実験的研究成果まで、コンパクトに紹介したものだ。文系の議論は、証拠がなくて言葉遊びではないか、と思っている人は多いだろう。しかし、本書を読めば、現在の社会科学が自然科学の成果と手法を取り入れて、従来のイメージと全く異なってきたことを実感でき

る。本書は、利他性や分配についての考え方について、生物学的な議論から始めて最先端の人文社会科学の実験的研究成果まで、コンパクトに紹介したものだ。文系の議論は、証拠がなくて言葉遊びではないか、と思っている人は多いだろう。しかし、本書を読めば、現在の社会科学が自然科学の成果と手法を取り入れて、従来のイメージと全く異なってきたことを実感でき

る。本書は、利他性や分配についての考え方について、生物学的な議論から始めて最先端の人文社会科学の実験的研究成果まで、コンパクトに紹介したものだ。文系の議論は、証拠がなくて言葉遊びではないか、と思っている人は多いだろう。しかし、本書を読めば、現在の社会科学が自然科学の成果と手法を取り入れて、従来のイメージと全く異なってきたことを実感でき

る。本書は、利他性や分配についての考え方について、生物学的な議論から始めて最先端の人文社会科学の実験的研究成果まで、コンパクトに紹介したものだ。文系の議論は、証拠がなくて言葉遊びではないか、と思っている人は多いだろう。しかし、本書を読めば、現在の社会科学が自然科学の成果と手法を取り入れて、従来のイメージと全く異なってきたことを実感でき

る。本書は、利他性や分配についての考え方について、生物学的な議論から始めて最先端の人文社会科学の実験的研究成果まで、コンパクトに紹介したものだ。文系の議論は、証拠がなくて言葉遊びではないか、と思っている人は多いだろう。しかし、本書を読めば、現在の社会科学が自然科学の成果と手法を取り入れて、従来のイメージと全く異なってきたことを実感でき

る。本書は、利他性や分配についての考え方について、生物学的な議論から始めて最先端の人文社会科学の実験的研究成果まで、コンパクトに紹介したものだ。文系の議論は、証拠がなくて言葉遊びではないか、と思っている人は多いだろう。しかし、本書を読めば、現在の社会科学が自然科学の成果と手法を取り入れて、従来のイメージと全く異なってきたことを実感でき

る。本書は、利他性や分配についての考え方について、生物学的な議論から始めて最先端の人文社会科学の実験的研究成果まで、コンパクトに紹介したものだ。文系の議論は、証拠がなくて言葉遊びではないか、と思っている人は多いだろう。しかし、本書を読めば、現在の社会科学が自然科学の成果と手法を取り入れて、従来のイメージと全く異なってきたことを実感でき

設計されている。低、中、高の3段階がある選択肢が3つ提示される。しかし、その金額はカードをめくらないとわからない。この仕掛けから、実験参加者が、その所得分配やギャンブルを選んだかというだけではなく、どの所得階層の金額やギャンブルの金額を気にするのかということも知ることができるのだ。その結果、功利主義かロールズ主義かという点では、所得分配とギャンブルで共通していること、どの人も最低所得のカードを一番チェックすることが示される。また、最も低いカードをチェックする際に、右側頭頂接合部という認知的共感性を支える部分が賦活していたことが脳イメージングから明らかにされる。

昆虫の利他的行動から分配に関する哲学的議論まで統一的に説明する実験社会科学に読者は驚くだろう。